

『経済研究』60周年記念シンポジウム
「日本における経済学の発展と『経済研究』」

日時：2010年1月26日(火) 15:00～18:20(シンポジウム) 18:30～(パーティー)

場所：一橋大学佐野書院 [<http://www.hit-u.ac.jp/guide/campus/campus/index.html>]

国立西キャンパス建物配置図 23 番

主催：一橋大学経済研究所

編集委員会：都留 康 (編集主任)，深尾京司，小塩隆士(シンポジウム実行委員会チーフ)，
青木玲子，阿部修人

プログラム

15:00～15:10 開会の挨拶：一橋大学経済研究所所長 (西沢 保)

司会進行：『経済研究』編集主任 (都留 康)

(1)報告

15:10～15:30

報告 1. 福田慎一氏(東京大学大学院経済学研究科)

「わが国の「マクロ・金融」研究の課題と展望―『経済研究』からの示唆―」

15:30～15:50

報告 2. 尾高煌之助氏(経済産業研究所)

「役に立つ」経済分析とは―『経済研究』31-59 巻掲載の労働経済論稿を読む―」

15:50～16:10

報告 3. 絵所秀紀氏(法政大学経済学部)

「開発経済学とアジア地域研究の間」

16:10～16:30

報告 4. 田畑伸一郎氏(北海道大学スラブ研究センター)

「『経済研究』に見る社会主義経済システムの崩壊と資本主義経済化」

16:30～16:45 休憩

(2)パネルディスカッション

16:45～17:00 パネリストの発言 1. 寺西重郎氏 (日本大学商学部)

17:00～17:15 パネリストの発言 2. 池尾和人氏(慶應義塾大学経済学部)

17:15～18:15 一般討論

18:15～18:20 閉会の挨拶：『経済研究』編集主任 (都留 康)

パーティー [18:30～]

問合せ先：

一橋大学経済研究所『経済研究』編集部

〒186-8603 国立市中 2-1, 電話 042-580-8328, Email: sympoER60th@ier.hit-u.ac.jp